

●感染

指標の説明

厚生労働省は、「院内感染は、人から人へ直接、又は医療従事者、医療機器、環境等を媒介して発生する。特に、免疫力の低下した患者、未熟児、高齢者等の易感染患者は、通常の病原微生物のみならず、感染力の弱い微生物によっても院内感染を起こす可能性がある。このため、院内感染対策については、個々の医療従事者ごとの判断に委ねるのではなく、医療機関全体として対策に取り組むことが必要である」としています。

当院は、感染対策委員会、感染管理部、感染対策リンクナース委員会を置き「院内感染対策マニュアル」に基づき予防策を実施し、院内感染予防に取り組んでいます。

- 1.擦式アルコール製剤患者1人当たりの使用量(患者1人あたりの擦式アルコール製剤総使用量)
- 2.VAP(人口呼吸器関連肺炎)発生率(ICU・ER/HCUにおけるVAPの発生割合)
- 3.BSI(中心静脈カテーテル関連血流感染)発生率(BSIが発生した割合)

指標の定義

1. 擦式アルコール製剤患者1人当たりの使用量 (ml)
 = 擦式アルコール製剤総使用量 / 入院患者延べ人数
2. VAP(人口呼吸器関連肺炎)発生率
 = 人口呼吸器関連肺炎発生率件数 / 入院患者延べ人数 × 100(%)
3. BSI(中心静脈カテーテル関連血流感染)発生率
 = 中心静脈カテーテル関連血流感染件数 / 入院患者延べ人数 × 100(%)

